



沼田市立利根小学校だより No11

しゃくなげ



気づき 考え 実行し 笑顔あふれるチーム利根小 一日一笑

3月朝礼から 「ありがとう」の反対は？

今回は、まず始めに1年生から順番に各学年で反対言葉を答えてもらいました。1年生の問題は「右」の反対、2年生以降は、「長い」「古い」「忘れる」「甘い」「うきうき」です。4年生までの問題は簡単に答えていましたが、5年の「甘い」の反対言葉は「辛い」「苦い」など少し迷うものでしたが答えられました。6年生の「うきうき」の正解は「しおしお」ですが、さすがに難しかったようです。「うきうき」という言葉は今でも耳にしますが、反対言葉の「しおしお」はほとんど使われていませんね。怪獣ブースカの「しおしおのパー」は、令和の時代の子供達には残念ながら伝わらず、しおしおでした。



さて、ここからが本題です。**ありがとうの反対は「あたりまえ」**です。「ありがとう」は、「有り難し」が変化して「ありがとう」になりました。「有り難し」とは、めったにないこと、つまりあたりまえではなく貴重なことです。例え、自分が困っていたら誰かが手伝ってくれるのを「あたりまえ」と思っている人は、「ありがとう」という言葉は出てきません。そうではなく、身の回りにあるついつい見逃してしまう「あたりまえ」と思ってしまったことを「有り難い」ことという目で見直してみると、素直に「ありがとう」という言葉にして、相手に伝えられる人になってほしいと思います。最後にありがとうという言葉がもつ力(右)を紹介して朝礼を閉じました。

「ありがとう」が持つ力

「ありがとう」のひとつが、しあわせにするのは、ふたりです

言われた人と、言った人



6年生を送る会 3月6日(木)



6年生を送る会は、虹色の会場の飾り付けやレクリエーションの準備、司会進行など5年生が中心となって何度も練習をして、最後に4年生と協力して作り上げました。

当日は5年生が企画した6年生クイズや木の中のリス、動物じゃんけんなど6年生と一緒に最後の活動をみんなで楽しく過ごしました。最後に在校生からお礼の手紙が渡されました。6年生と1~5年生が、互いにそれぞれを想う気持ち、感謝の「ありがとう」の気持ちが表れた、笑顔あふれる温かな送る会となりました。



気づき 考え 実行し 笑顔あふれるチーム利根小をスローガンに掲げたこの一年間、子どもたちは本当によく勉強や運動に励み、様々な活動を通して心身共に大きく成長しました。今年度も来週の卒業式と修了式を残すのみとなりました。複式学級や統合のことなど今後も検討していくことがありますが、保護者の皆様には、学校の取組に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。来年度も利根小学校の応援をぜひお願いいたします。